

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を遵守したスペースはもちろんのこと、運動できるスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	児童発達管理責任者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	・掲示物などを利用して保護者様にお伝えしている。 ・ホワイトボードや写真を用いて、視覚的にわかりやすい配慮をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	・冬は乾燥がひどいため、タオルを濡らしたり、水用の霧吹きで湿度を上げていたが、加湿器を購入・導入した。 ・療育中は窓を開けて喚起している。毎日の掃除・消毒の徹底。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	毎日のミーティングで話し合うとともに記録もしている。 毎日朝礼時・終礼時に指導員全員でミーティングをして情報共有、振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者からの要望等は忘れぬようにバインダーにメモをとり、職員間で共有している。 保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	当社のホームページに公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		第三者評価は行っていない。必要に応じて検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	定期的に内部研修を行っている。各職員の知識・技能向上に努めている。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。 また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	フェイスシートを活用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	子ども一人一人のサービス支援計画に沿って、基本活動(自立支援・日常生活の充実のための活動等)を複数合わせて行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	計画を作成する際も、指導員が参加しており、その支援についても全職員で意思統一を図っている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	支援前後の打ち合わせで意見を出し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	保護者様のニーズやお子様の課題にあわせたメニューを考え、意見を出し合って決める等工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	目標やニーズに合わせて個々の活動と集団の活動とを可能な限り取り入れている。そのため同じ目標を持って取り組めるか、お子様同士の相性をみてクラス編成を行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	子ども一人一人への声掛けや関わり方等も話し合っており共有している。1人ひとりの振り返りを行い、再度一貫性を持って関わられるよう共有しあい、次回の支援に繋げている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	その日一日を振り返り、難しかった点なども共有できているため次の支援がしやすい。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	一人一人記録をとっている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的(6カ月ごと)に保護者の方と面談を行っている。それに合わせて児発管、指導員でミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	指導員からの意見を踏まえ、児発管が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有等連携できる体制は整えている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		医療的ケアの必要なお子様は現在当教室に通所されていないが、今後利用があった場合は連携した支援を行っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		医療的ケアの必要なお子様は現在当教室に通所されていないが、今後利用があった場合は連携した支援を行っていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		今後必要に応じて行っていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	相談支援センターを通して行うこともある。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	他事業所での様子など互いにヒアリングしている。研修は検討している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		ニーズがあれば検討したい。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	お話をいただいた時には参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	家庭と連携を取り、発達状況だけではなく、その時のコンディションに配慮して支援が行えるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	関りなどの共有はしているが、家族支援プログラムをできているかと聞かれるとそうでない部分も多い。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的(6ヶ月ごと)に保護者の方と面談を行い、支援計画の説明に同意を頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	相談を受けた際には職員で共有し、適切な支援が行えるように話し合い等もしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		保護者の意見も鑑みて、保護者参加型のイベントなど検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	必要に応じて事業所内相談支援をご利用いただいている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	・月1度以上のInstagramアプリ更新。 ・LINEアプリにて情報伝達を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	十分注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	特性や能力に応じてイラストや写真を用いて対応している。 □頭指示より視覚優位なお子さまに対しては、動作化を行い、目で見てわかるような伝え方をしている。今後も必要に応じ検討していく予定。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		今後必要に応じ検討していく予定。
	非常時等	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	マニュアルの確認や感染症対策委員会にて研修を実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練(火災・防災・不審者対応)を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	体験会問い合わせ時や契約時にフェイスシートの内容を確認している。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	アレルギーについてフェイスシートに記入していただき、児童名簿にまとめている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ささいなことでもヒヤリハットを作成し、共有している。終礼時のミーティングで話し合い、その都度記録し、毎日の振り返りで共有して対策を打っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止委員会にて研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。当事業所において拘束等は行われていない。また職員間でも研修を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	0	0	2	・活動スペース、待機スペースなど区画分けがされている。 ・広く子供がのびのびと動ける空間です。	今後も安全なスペースを確保し、取り組んでまいります。 定期的に見学期間を設けておりますので、是非ご見学ください。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	0	4	・誰が何の資格を持っているのか分からない。 ・丁寧に指導していただきありがたい。 ・活動の説明もわかりやすく、その時に応じて職員の方が配置されています。	貴重なご意見ありがとうございます。 職員紹介カード等を用いて紹介するとともに、研修等を通して専門性をより高めてまいります。 引き続き保護者様に安心してお子様を預けていただけるような教室運営に努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	0	0	2	・荷物を置く場所、手洗いをする場所など、目で見てわかりやすくなっている。 ・待機時のための本も活動中は見えないように収納されていて良い。	ありがとうございます。引き続き保護者様に安心してお子様を預けていただけるような教室運営に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	0	0	いつも清潔に保たれている。	ありがとうございます。引き続き環境を整えてまいります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	1	0	0	・最初のヒアリングでとても良く話を聞いて頂いた。 ・モニタリング面談がとても丁寧にこちらの意見と担当の方の意見をどちらにもくみ取って計画を作成していただけます。	引き続きお子様の課題や対応の共有をし、児童発達支援計画に生かしてまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1	0	4	主に運動療育の施設ですが、コミュニケーションをとるお集まりがあったり、同年代の子とできるようにクラス編成がされていたり、毎回保護者へのフィードバックが行われます。	引き続きご利用者のニーズを汲み取り、支援に取り入れられるよう精進いたします。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	1	0	2	こちらの希望として出したことを、活動中に指導していただいています。	ありがとうございます。引き続き保護者様のご意見・ご要望を踏まえ、お子様に楽しく学んでいただけるプログラム運営に努めてまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	5	毎回保護者の意見を取り入れたプログラムになっている。	今後とも研修や職員間での情報共有をし、お子様が楽しみながら活動できるよう努めてまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	7	12	交流する機会がないので、兄弟などが参加できるイベントなどであると嬉しい。	ご意見いただきありがとうございます。TAKUMIで開催できるイベントやプログラムを考え、運営してまいります。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	1	0	・継続だと改めての説明はあると助かります。 ・通所前の契約時によく説明していただきました。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。契約時だけでなく、更新時やご利用状況にあわせてお伝えできるよう改善に努めてまいります。また、ご質問がございましたら、お声掛けください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	3	0	0	モニタリング面談で、丁寧に説明していただきました。	ありがとうございます。引き続き行ってまいります。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	2	8	4	特別にプログラムはありませんが、相談すると色々教えていただけます。	ありがとうございます。引き続きアドバイスや支援は行って参ります。その他、面談時やご相談にあわせTAKUMI以外でも行えることをご提案できるよう努めてまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	3	1	0	・伝えているつもりだが指導員に差があるのか共通理解については難しい。 ・幼稚園での体操に合わせた動きも取り込んでもらっていて助かります。 ・毎回フィードバックがしっかりしています。とても丁寧でわかりやすいです。	・貴重なご意見をありがとうございます。指導員間の差が埋まるように、今後より一層気をつけて認識の共有・徹底を行ってまいります。 ・今後も引き続きご希望を取り入れて療育・支援にあたっております。 ・今後も保護者様と齟齬がないようにフィードバックは丁寧に行ってまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	3	0	0	・こちらから相談すると丁寧に回答いただき一緒に考えてくださいます。 ・希望で月1回面談ができるのでとても良い。	・ありがとうございます。引き続きご希望に応じて面談や相談の機会を設けてまいります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	15	5	保護者同士の交流があれば参加したい。情報共有したいです。	今後TAKUMIのできる企画を考えてまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	2	0	1	困りごとがあったため情報共有させていただいたところ、すぐに電話で詳細を確認してくれました。	今後もご利用者様本人、保護者様の安心できる場となるように対応を心がけてまいります。
	17	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	4	0	0	お迎えの時に声をかけてくださったり、電話やラインでもやり取りしやすい。	今後もご利用者様、保護者様のご負担にならないように配慮して行なってまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	7	1	1	・インスタでもどのような活動をしているのかわかりやすく知ることができました。 ・特に会報がないので年4回程あると楽しいと思う。インスタの投稿が面白い。	当教室のInstagramアプリをご覧ください、ありがとうございます。引き続き、可能な限り、SNSを活用し、個人情報に配慮しながら運動中の動画や写真の共有をさせていただきます。会報誌については検討してまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	0	0	0	きちんとされている。	保護者様に安心していただけるよう、引き続き徹底してまいります。
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22	0	0	3	避難場所など通所前の説明で周知されました。定期的に訓練があり、事前に教えていただけます。
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	0	0	3	定期的に行われています。	引き続き訓練を行ってまいります。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3	0	0	・季節ごとのイベントが増えて楽しみが増した様子です。 ・いつも待ちきれない様子です。楽しみにしていない時がありません。先生もお友達も大好きです。	とても嬉しいご意見ありがとうございます。今後も季節を感じられるようなイベントを可能な限り取り入れ、お子さまが楽しんで通所できるような教室運営に努めてまいります。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室 _____

満足度	23	事業所の支援に満足しているか	22	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間がもう少し長いと助かります。 ・活動した日の記録を紙がかわる前にコピーが欲しい。園や相談支援事業所と情報交換したい。 ・とても、大変満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間に関しまして検討いたします。 ・ご意見ありがとうございます。お子様の記録につきまして、個別でご相談いただきましたらできる限りの対応をさせていただきます。 ・ありがとうございます。引き続き保護者様、お子様ともにご満足いただける運営を目指して精進してまいります。
-----	----	----------------	----	---	---	---	---	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMIさいたま新都心教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を遵守したスペースはもちろんのこと、運動できるスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	児童発達管理責任者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	・掲示物などを利用して保護者様にお伝えしている ・ホワイトボードや写真を用いて、視覚的にわかりやすい配慮をしている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	毎日のミーティングで話しあうともに記録もしている。 毎日朝礼時、終礼時に指導員全員でミーティングをして情報共有、振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者からの要望などは忘れぬようバインダーにメモをとり、職員間で共有している。保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	当社のホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		第三者評価は会社の方針で行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	経験豊富な職員が研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。 また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	フェイスシートを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	支援前後の打ち合わせで意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	保護者様のニーズやお子様の課題にあわせたメニューを考え、意見を出し合い、共有している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	長期休暇の宿題やニーズに合わせて、イベントやプログラム策定を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	目標やニーズに合わせて、個々の活動と集団の活動を可能な限り取り入れている。 そのため同じ目標を持って取り組めるか、お子様同士の相性をみてクラス編成を行っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMIさいたま新都心教室

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	子ども一人一人への声掛けや関わり方なども話し合っ共有している。1人ひとりの振り返りを行い再度一貫性を持って関われるよう共有しあい、療育・支援につなげている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	その日に起こった難しかった点なども共有できているため、次の支援がしやすい。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	一人一人記録をとっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的(6カ月ごと)に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ児発管、指導員でミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	総則の基本活動のうち、主に「自立支援と日常生活の充実のための活動」及び「余暇の提供」を組み合わせ提供している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	指導員からの意見を踏まえ、児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	保護者との連携を図り、トラブルが起こらないようにしている。その都度情報共有を行い、職員間でも共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		医療的ケアの必要なお子様は現在当教室に通所されていないが、今後利用があった場合は連携した支援を行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		希望や必要に応じて行っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		現在、障害福祉サービス事業所に移行する児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村が実施する研修やセミナーに各自参加し、共有。積極的に情報収集を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		希望があった際に検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		必要に応じて参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	家庭と連携を取って発達状況だけではなく、その時のコンディションに配慮して支援が行えるようにしている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMIさいたま新都心教室

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	関りなどの共有はしているが、家族支援プログラムをできているかと聞かれるとそうでない部分も多い。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	必要に応じて事業所内相談支援をご利用いただいている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		保護者の意見も鑑みて、保護者参加型のイベントなど検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	共有事項のフォーマットや記録をとって共有し、迅速な対応に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	・月1度以上のInstagramアプリ更新。 ・LINEアプリにて情報伝達を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	十分注意している。	
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	特性や能力に応じて、イラストや写真を用いて対応している。 口頭指示より視覚優位なお子さまに対しては、動作化を行い、目で見てわかるような伝え方をしている。今後も必要に応じ検討していく予定。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在は行っていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	マニュアルの確認や感染症対策委員会にて研修を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練(火災・防災・不審者対応)を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止委員会にて研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。当事業所において拘束等は行われていない。また職員間でも研修を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	アレルギーについてフェイスシートに記入していただき、児童名簿にまとめている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMIさいたま新都心教室

	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ささいなことでもヒヤリハットを作成し、共有している。終礼時のミーティングで話し合い、その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。	
--	------------------------------	---	--

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	1	0	0	人数に対して十分な広さです。	今後も十分にスペースを確保できるよう環境を整えてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	1	0	2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	24	1	0	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	23	1	0	1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	9	9		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0	とても丁寧でした。	今後も引き続きご不安を取り除けるように丁寧にお伝え、対応してまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	9	7		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	1	0	6		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	0	以前のように時々動画を送ってもらえると嬉しいです。	今後も可能な限り、SNSを活用し、個人情報に配慮しながら、イベント時の映像や写真の共有をさせていただきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1	1	3		
14 個人情報に十分注意しているか	25	0	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	1	1	1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	0	0	1		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23	2	0	0	いつもありがとうございます。	ご利用いただきありがとうございます。ご満足いただける支援の提供ができるよう精進いたしますのでよろしくお願いいたします。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI さいたま新都心教室

18	事業所の支援に満足しているか	23	2	0	0	
----	----------------	----	---	---	---	--

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。